

# Brown Bag Seminar



ブラウンバックセミナー

録画期間限定公開  
オンライン (Zoom)

【技術支援】九州大学 Q-AOS & TEMDEC

# 2021.10.27

(水)

登録はこちら

日 ↔ 英  
同時通訳

## 12:10 ~ 12:50

12:10-12:15 演者紹介  
12:15-12:40 プレゼン  
12:40-12:50 質疑応答

[https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN\\_S3TG2ycJTjmsb\\_vb8zsDfA](https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_S3TG2ycJTjmsb_vb8zsDfA)



Asia Week 特別講師



## エイドリアン・クア 教授

シンガポール国立大学 / Futures Office ディレクター

エイドリアン・クア教授は「飽きっぽい・移り気」という言葉を思い起こさせるようなキャリアを歩んできました。彼のキャリアは伝統的なアジア人の親が嘆くようなものでもあります。クア教授は長い紆余曲折を経て、ついにはシンガポール国立大学において、上層部に対して「不都合な質問をしたり、挑発行為をしたり、苛立たせたり」することができるような立場になりました。

クア教授は、シンガポール国立大学の Futures Office の創設者です。Futures

Office は、高等教育の将来の可能性や妥当性について検討するために、基本的・根本的な問いにより、隠れた仮定を明らかにすることを任務とする、先見性のあるシンクタンクです。同大学のキャリアの前には2015年から2018年にかけてリー・クアンユー公共政策大学院のシニアリサーチフェロー兼ケーススタディユニットの長を務めました。

研究テーマは、未来思考、教育と公共政策、複雑性科学などです。

# 大学の未来を再考する

開会挨拶：荒殿 誠 教授 (九州大学 プロボスト、理事・副学長)

司会：Scott Valentine 教授 (Q-AOS 研究推進ディレクター)

今回のセミナーでは、「大学」に影響を与える原動力と新たな問題を検討します。それは、大学の理論的根拠、構造、慣れ親しんだ運営方法だけでなく、大学が巻き込まれているより広い社会的、経済的、政治的状況との関係までも含みます。インダストリー 4.0 や特に COVID-19 の流行を考えたとき、大学が直面している課題を、雇用問題や雇用適性への対処、高等教育が提供する能力と産業界が要求する能力との適合性として捉える、つまり、大学の将来を専門技術者の観点から捉えることは、従来型の取組と言えます。しかし、インダストリー 4.0 や COVID-19、そして急速に進む地球規模の気候変動が、全人類が直面している実存的危機（人類存続の危機）である限り、私たちは技術的、管理的なものを超えて、大学の在り方そのものについて問う必要があります。大学の意義・目的とは何か？今日の若者が大学に求めているものは、現実的か・理想的かのトレードオフではなく、現実的かつ理想的なものではないかと思えます。それは、卒業生達が（いかなる形であれ）社会人となることに向けて準備するためのものであり、また、この世の中で社会的・政治的存在としての自らを見出す手助けとなることでもあります。

